



第 394 回 例会 1967.3.14 (火) 小雪

例会場 鶴岡市本町二丁目 ひさごや (2) 0707・2838 番
 事務所 鶴岡市馬場町十日町口 商工会議所内 (2) 5775 番

EBTTER WORLD
 THROUGH ROTARY
 (ロータリーでより良き世界を)

出席報告

本日の出席	会 員 数	57名
	出 席 数	43名
	出 席 率	75.44%
前回の出席	前回出席率	84.26%
	修正出席数	52名
	確定出席率	91.23%

欠 席 者 阿部(公)君、長谷川君、金井君、佐藤(昇)君、林君、平田君、本間君、五十嵐(伊)君、新穂君、松田君、斎藤(栄)君、斎藤(信)君、佐藤(伊)君、佐藤(仁)君

メッセージ

金井君～山形RC
 佐藤(寅)君、佐藤(忠)君、手塚君
 ～鶴岡西RC

ヒシター

岡崎大作君、菅野和助君～酒田RC

連絡事項

◆ 会長報告

(一) 3月12日から18日迄はロータリーの世界理解週間で御座います。各地のロータリークラブで各種の行事が行われます。国際理解とは簡単に申し上げれば相手の国の人の立場になって物を考えるという事かと思えます。そのためには外国の事或は外国の人の事を良く知らねばなりません。

国際ロータリーのエバンス会長は「より良い世界」を造るために、本年度の実行すべき項目として

(1) ロータリーの国際性を強調すること…… 広く世界中に友情と接触を広めること、クラブ間、地区間の国際青少年交換の奨励。

(2) 世界社会奉仕に参加すること…… を挙げて居られます。

当クラブは本年度交換学生を受入れ、亦、世界社会奉仕に関しては小花君が地区委員会の委嘱を受け、地区の活動を目下検討して居られます。本日は国際奉仕委員阿部(襄)君に之に関連したスピーチをお願いして居ります。

(二) 次にオーストラリアのストーウエルRCのドクター・クリフォードハントさんから宛宛に手紙が来ましたので御披露いたします。この方は昨年8月にブラウン君に引き続いて日本に来られ、秋田の湯沢南RCに招待され、帰りに鶴岡に寄られる様おすすめたのですが、行きちがい帰国されました。次年度の会長に決定されたそうです。

○ 2月25日付……

『ストーウエルから御挨拶します。

数ヶ月前に交換学生の写真と一緒にあなたのお手紙を頂戴しました。

鶴岡のあなた方のクラブは実に活動的なクラブだと思えます。お手紙の一句一句に、そして亦写真に、あなた方の熱情が示されています。オーストラリアでも日本人はロータリーに熱心である事が知られています。

リンゼイブラウン君を招かれた事を私共は非常に嬉しく思っています。彼は木材商人ですから商用で度々日本に行きました。彼は少し日本語を話しますが、私は日本に行っても2、3の言葉しかわかりません。数年前道楽に私は日本語を覚えようと思いましたが、ここでは仲々

機会がありません。

ストウエールのロータリアン達は、町のために尽す事と交換学生の事に大へん興味を持って居ります。色々と職業の異なる人達が自分等の分担の仕事に貢献する事は驚く可事です。2人の人間は決して同じ才能を持って居りません。私共の持っている物をみんなの人が使わねばならぬと思います。

この町は羊毛、小麦、からす麦作りと山嶽旅行で知られて居ります。ここでは米は作りませんが北方では米作農場があります。

私共夫婦は湯沢で非常にお世話になりました。あなた方は私共に比べ歴史と古い文化を持って居ります。私共の国は若いのです。私共はヨーロッパ人であり英国系であります。そして一種の前哨基地として、アジアの一端に住んでいます。多くのオーストラリア人は北方にある国々に非常に興味を持って居り、私共の運命はヨーロッパよりもアジアの方により密接な関係のある事を知っています。

ストウエールは既に2人のロータリアンを個人的に日本に送り御挨拶しました。私はこの友好関係を更に発展させたいと思います。

次の機会にあなたがどなたかをオーストラリアに送られるならば、私の家内と共にあなた方のおもてなしの御返礼をしたいと思っております。

私はこの7月からストウエールの会長になります。鶴岡の皆さまによりしくお伝え下さい。

クリフオード ハント』

この手紙の御返事は私の拙文を張君にお願いしまして翻訳していただきまして出しておきました。

内容は、新会長選任のお祝い、私も英語はよくわからないが言語を越えてお互いに理解し合おうという事、それにインターアクトが出来たから高校生文通連絡を援助してくれ、オーストラリアに行きたいが直ぐには行けないという事です。

㊦ 世界理解週間について

阿部裏君世界理解週間は御存知のように3月12日から18日まで一週間となっております。

R・I今年度の計画として

- ① 世界社会奉仕計画
- ② ①のプログラム又は展示品の交換
- ③ 彼等(低開発国)の身になって会議を開催する
- ④ この運動の他の人も協力する様に激励するの4つを挙げております。

先ず世界社会奉仕については保健、教育、技術面等多種多様ですが次に各国RCの例を2、3……

- ① 保健…… ソウルRCでは貧困な避難民にブロック製造機械を作ってやり住宅60戸の建設に協力。
- ② 教育…… オーストラリア・デンマーク、米国のRCが泰国の学校々舎建築に協力(1校宛500ドルの寄附)
- ③ 保健…… 英国サンデリー・オン・ティムズRCが病院に急救車の寄附、又英国の外のRCがこれを知りて6ヶ国に移動診療車を寄附。

④ 技術…… オーストラリアのRCの会員がインドを旅行された際、農民の使用している『すき』が木製であるのを見て帰り、自国で機械化によって今は使用していない鉄製の『すき』をインド農民に送られた。

⑤ インド及びエスラエルに農業技術(肥料の使用法)指導を行なった。

このように国際社会奉仕は金銭的な面だけでなく、その他にも色々あると云う事を強調して居られました。又募金をやるにしても単に会員だけでなく一般の協力を求め、募金して歩く事事態も奉仕であるということです。

又ロータリアンは各部門に於ける指導的立場にあるので、発展途上の国々に対しては個人的な面でも協力出来るということです。例えば企業経営の相談になってやるとか、単に簿記の指導をただけでも大変喜ばれるそうです。

ロータリアンが世界のどこか(低開発国)に行つて1ヶ年位献身奉仕出来るならば大変有難いということです。世界人口の4分の3は開発途上の民族だそうです。そして空腹な人、或は病人、或は無学な人は20年前よりむしろ増えているそうです。そこで私たちは、どんな小さな事でも役に立つという事を考え、この世界理解のために何かの形で奉仕して戴きたいという事です。中国のことわざで『暗やみをのろう前にローソクを灯せ』ということがありますが、何か感じさせられる点がありました。ところで海外に奉仕のため行くとしても観光旅行に行くようなわけにはゆきません。場所はおよそ文明とはかけ離れ、言葉にも問題ある等困苦欠乏に耐えねばなりません。

そこで外務省の外かく団体で日本青年技術協力ががありますが、これは全国の農林漁業、体育、医療、電気、衣料関係の若い青年男女が集まり、3ヶ月の訓練を経てアジア、アフリカに派遣しているもので非常に実績を挙げているようです。2ヶ年で現在200名程行っているようですが、その人たちが目的を終って郷里に帰って来た場合その職場が問題になっているようです。そこで職場を斡旋してやるとか或は自分の会社で雇用してやるといった事もRCとしての奉仕活動になるのではないかと思います。

このように間接的にも世界社会奉仕が出来るということです。即ちユネスコ(文部省)や外務省等関係機関或は外かく団体にRCとして協力するのも一つの方法ではないかと思われま。

…… 第353地区世界社会奉仕委員小花君が現在の地区活動の様について説明。

㊦ 幹事報告 笹原桂一君

○国際ロータリー加盟認証状伝達式

1. 花巻南RC 5月21日(月)花巻市泉州大学
2. 矢島RC 5月21日(日)矢島高校
3. 浜坂RC(兵庫県)5月21日(日)浜坂高校
4. 横浜金沢RC 5月14日(日)関東学院大学

○例会場変更

秋田RC 3月15日(水)より

アキタ・ニューグランドホテル

○会報到着 村上RC